

女流陶芸家の草分け

辻輝子展

Tsujii Teruko

2021年

2月5日〔金〕～3月28日〔日〕

※会期中無休



paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

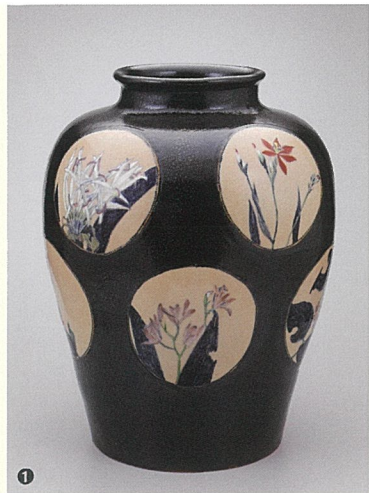
パラミタミュージアム 検索

<https://www.paramitamuseum.com> E-mail:office@paramitamuseum.com Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse

奥から：じゃが万華鏡／えびつる手付小鉢／椿香合／しじゅうから香合／桜花香合／椿香合／えびつる万華鏡 上皇后陛下美智子さまよりご寄贈の品

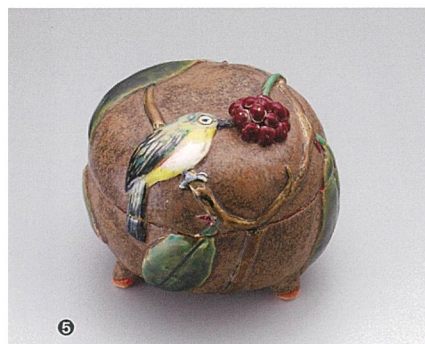
辻輝子展

Tsuji Teruko



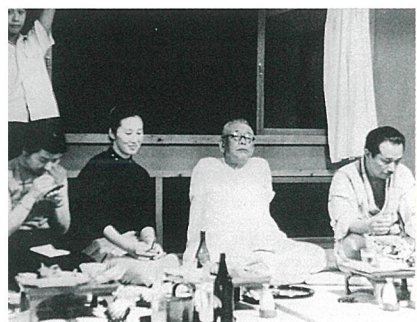
辻輝子は1920年(大正9)東京・日本橋に生まれ、女流陶芸家の草分けとして活躍しました。また若き日には浅香金四郎に日本画を学び、北大路魯山人とも交流を持っていました。その身近な花や虫など小さな生命に慈愛の目をそそぐ繊細な表現は、国内外で高い評価を受けています。これまでパラミタミュージアムでは茶碗、香合などの茶道具から陶製アクセサリまで400点に及ぶ辻輝子の作品を収蔵し、その収蔵作品数は国内随一の規模を誇っています。

今回の作品展には上皇后陛下美智子さまよりパラミタミュージアムにご寄贈のあった作品も展示されます。辻輝子の繊細な陶芸の世界をお楽しみください。



①…草花紋大壺 ②…えびづる水指 ③…さるとりいばら水指 ④…せみ香合 ⑤…めじろ飾り箱 ⑥…美男かざら鉢 ⑦…藤振出 ⑧…トルコ色振出

〔辻輝子 略歴〕 大正9年 東京日本橋に生まれる。／昭和13年 陶芸を大森光彦、日本画を浅香金四郎に師事。／昭和14年 ニューヨーク万国博覧会に出品。／昭和16年 東京世田谷若林に築窯。東京府現代工芸美術展特賞受賞。棟方志功と交友始まる。／昭和24年 二科展に出品。岡本太郎と交友始まる。／昭和30年 北大路魯山人と交友始まる。／昭和32年 インディラ・ガンジー元インド首相、辻工房へ来訪。／昭和53年 東宮御所で個展。『クレマンソー香合コレクション』の里帰り展を企画。／平成16年 パラミタミュージアムにコレクションを収蔵(平成17、22年に個展開催)。／平成29年 10月23日歿、享年97。



伊勢えびの解禁日にあじろホテルにて
前列二人目より辻輝子・北大路魯山人・岡本太郎



伊豆・川奈の自然に囲まれた陶房にて(平成16年)



岡本太郎と共に



棟方志功と共に

次回予告 没後70年 吉田博展 2021年4月1日(木)~5月30日(日)

明治、大正、昭和にかけて風景画の第一人者として活躍した吉田博(1876~1950)は、若き日から洋画修業を始め、幾度もの海外体験を通じて東西の美術に触れながら、己の技に磨きをかけました。水彩、油彩の分野で才能を発揮していた吉田博が木版画を始めたのは49歳。西洋画の微妙な陰影を版画で表現しようという前代未聞の挑戦を始めました。没後70年の節目となる本展では、初期から晩年までの木版画を一堂に展示し、新しい木版画の創造をめざした吉田博の魅力に迫ります。

■お車をご利用の場合=東名阪「四日市」より湯の山方面へ約6.5km、新名神「菟野IC」より約4km ■無料駐車場あり(普通車100台、大型/バス駐車可)
■電車をご利用の場合=近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m。 ■全館バリアフリー、車椅子常備

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
https://www.paramitamuseum.com E-mail=office@paramitamuseum.com
Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse



パラミタミュージアム 検索

